



1. 中等の強み？

『高大接続を考えるための1万人データ』という講演を聞きました。過去5年間に全国の大学を卒業した社会人1万人を対象に調査した結果が紹介されました。「高校生や大学生の時に学んだこと・身につけたことの中で、仕事のモチベーションにつながっていること」という調査の上位項目は次のようになっています。

- 1位 意見の違いや立場の違いを理解すること
- 2位 目的を設定し確実に行動すること
- 3位 自分の意見を分かりやすく伝えること
- 4位 社会のルールや人の約束を守ること**
- 5位 他人に働きかけ巻き込むこと

4位「社会のルールや人の約束を守ること」は意外ではないですか。本校では他の4項目については協同学習やKobeプロジェクト、生徒会活動などで繰り返し学び、身につけ、本校の強みになっていると言えます。

一方で、制服点検、1分前着席、無言集合、公共マナー講座など生活行動の訓練を本校はしていません。訓練がないのは「考えれば分かることは指導しない」からですが、皆さんは社会で通用するルールやマナーを身につけていますか。本校の弱みになっていませんか。当たり前のルールやマナーが身につけていないと、周囲に迷惑をかけるだけでなく自分の足を引っ張ることになります。

2. 上記の内容をうけ生活行動を見直しましょう。

以前の学思行にも掲載されていましたが、グローバルキャリア人として社会で通用するために、この時期に身に付けておく礼節（行動・作法・礼儀）があると思います。そこで、普段の日常生活を見直してみましょう。

① 『あいさつ』

前期生徒会活動で「あいさつ運動」を現在行っています。しっかりと朝から“あいさつ”を交わし、1日の良いスタートがきれるようにしましょう。あいさつのあふれるエンパワーメントされた学校にしましょう。

② 『服装(身だしなみ)の乱れは心の乱れ』

普段の学校生活でネクタイがゆるい、くつのかかと踏むといった状態になってはいないでしょうか。身体と心はつながっているとよく言われますが、それと同様に、「服装と心」も大きくかかわっています。たかが服装と考える人もいるかもしれませんが、服装1つで相手に与える印象は大きく評価も変わります。中等生らしい服装、制服の着こなしを心がけましょう。鏡を通して髪型や服装だけでなく「心」も見てください。

③ 『学外でのルール・マナー』

登下校時、駅、車内など学外のルール・マナーは守れているでしょうか。公共交通機関を利用する際、社会のルール・マナーを守ることが大切となります。他者に迷惑をかけていませんか。この機会に、学内だけでなく学外のルール・マナーも意識しましょう。